

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成22年12月

和歌山県立和歌山西高等学校

☆ 介護の現場を体験しました



本校は選択科目のひとつに「介護」を設定していますが、授業の一環として9月12日（火）および11月16日（火）の2回にわたり、紀伊松風苑にて体験学習を行いました。施設見学やお年寄りとの交流等を通して、介護の仕事とはどういうものなのかについて学ぶことができました。この授業の選択生で、実際に介護の仕事に内定している者も多く、4月より学んだことを生かしてくれることを期待します。紀伊松風苑の職員の皆様、お忙しい中どうも有難うございました。

写真提供：西本スタジオ

☆ 園児を前にちょっぴり緊張？



夏休みに「よみかたりボランティア養成講座」を受講した5名の生徒達が、その成果を発揮すべく、11月17日（水）西脇幼稚園にてよみかたりを行いました。手袋人形や手遊び、絵本の読みかたり等を年少・年中・年長クラスで披露しました。ちょっぴり

緊張気味でしたが、園児達のよろこんでいる姿を見て安心したようでした。

☆ 科学のおもしろさを伝えて



本校理科職員が実行委員会主催「おもしろ科学まつり」に毎年出展し、おもしろ実験を子ども達に披露します。昨年度同様、本校生徒も12月18日（土）・19日（日）の2日間参加しました。（5名）。職員と共に「音の伝わり方」に関する実験等を披露し、さすがに疲れた様子でしたが、他の実験も観察できた等、皆笑顔で楽しかったと感想を述べていました。子ども達もさることながら、参加した生徒達も科学への興味・関心をいっそう深め、今後の授業等に生かしてもらえればと思います。



水の入ったグラスの縁を、水で濡らした手で回すと音が鳴る実験を披露中。うーん、なかなか難しいなあ。

